

群馬県大学図書館協議会会報

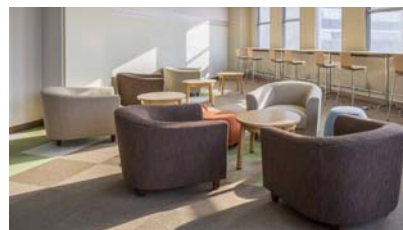
からっ風通信

2019
第41号

発行—2019年3月1日

<http://gdtk.lib.gunma-u.ac.jp>

編集—群馬県大学図書館協議会「会報」編集委員会 前橋市荒牧町4-2(群馬大学総合情報メディアセンター内) TEL.027-220-7180



前橋工科大学

MAEBASHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY



CONTENTS

■ 研究会報告 平成30年度第1回大学図書館研究会	2
■ トピックス	3
■ 編集後記	5

研究会報告

大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修 (群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○平成30年度第1回

テーマ：「太田市美術館・図書館の試み」

日時：平成30年9月11日（火）13時30分～16時00分

場所：太田市美術館・図書館 視聴覚ホール

参加者：35名（大学図書館17名、公立図書館12名、高校図書館6名）

講演：「太田市美術館・図書館の試み」

太田市美術館・図書館 館長補佐 富岡義雅 氏

【概要】

まちに創造性をもたらす、知と感性のプラットフォームとして、2017年4月にグランドオープンした太田市美術館・図書館について、開設までの経緯から施設の概要、地域との関係、運営面などについてお話しいただきました。

講演後、太田市美術館・図書館のスタッフに案内していただき、館内を見学しました。



会場：太田市美術館・図書館



田中会長



富岡講師



講演の様子



館内見学の様子



【参加者の意見等】

- ・太田市美術館・図書館に来てみたいと思っていたので、良い機会になりよかったです。今までにないタイプの図書館で、普段図書館に来ない利用者が本やアートに触れる空間として素敵だと思いました。
- ・このような施設ができるまでのプロセスもよくわかり市民参加型の良さがうかがえました。
- ・いろいろと興味深い施設を視察できてよかったです。ありがとうございます。他館の状況がよくわかり参考になりました。
- ・このような施設ができるまでのプロセスもよくわかり市民参加型の良さがうかがえました。とても良かったです。
- ・来させていただきただけで、建物のデザインや雰囲気に刺激を受けました。来るだけで、得るものがあるのではと期待させる図書館だと思いました。

等の意見が寄せられ、有意義な研修となりました。

トピックス

桐生大学・桐生短期大学部図書館

アクティブ・ラーニング・スペースを設置しました

2017年9月より、図書館2階にアクティブ・ラーニング・スペースを設置しました。

自然光が差し込むオープンスペース、視聴覚ブース、プロジェクターが設置されたディスカッションルーム等、目的に応じた利用を行うことができるものとなっています。

国家試験の時期ではグループでの学習、また実習の時期では貸出用のパソコンを借りてディスカッションルームを利用する学生の姿があり、有効的な活用がされている様子です。



オープンスペース



視聴覚ブース



ディスカッションルーム

トピックス

育英大学・育英短期大学図書館

「言葉のプレゼント ～先生たちの読み聞かせ～」を開催しました

2019年1月16日（水）の昼休みに図書館で、短大保育学科の教員による、学生に向けた読み聞かせ会「言葉のプレゼント ～先生たちの読み聞かせ～」を開催しました。お昼休み中の20分間という短い時間でしたが、先生方の演出による絵本と紙芝居の読み聞かせや、「人生のレシピ」と題された心温まるお話に、参加してくれた学生たちは集中して聞き入っていました。

卒業する2年生には「思い出の種」に、1年生には「創造の種」になる、静かで豊かな時間になりました。

《言葉のプレゼント ～先生たちの読み聞かせ～》

場所：図書館3階 / 時間：12：20～12：50

内容：佐塚公代非常勤講師 紙芝居「よだかの星」宮沢賢治作

小屋美香准教授 絵本「くまさん」まどみちお作、絵本「ことばのかたち」おーなり由子作

内田基美教授 お話「人生のレシピ」



トピックス

群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館

特別展示「群馬県内の古墳発掘の父・尾崎喜左雄博士展 Part3 ～群馬県内の古墳発掘・調査の歴史を識る～」を開催しました

11月27日（火）～12月21日（金）まで、群馬県立歴史博物館（以下、歴博）の協力のもと、「群馬県内の古墳発掘の父・尾崎喜左雄博士展 Part3～群馬県内の古墳発掘・調査の歴史を識る～」を開催しました。尾崎博士（本学名誉教授）は、昭和21年から県内300以上の古墳発掘調査に携わり、国内でも有数の古墳王国である群馬の考古学の礎を築いた研究者です。長年の研究成果は「考古遺物・記録・写真」の3点がそろそろ貴重な調査資料として現在も教育学部に保管されています。



トークショー



ギャラリートーク

今年で3回目となる今回の展示では、佐波伊勢崎地域の古墳出土品や調査ノート、写真等を展示しました。また、12月9日（日）に開催したトークイベントには、県内外の考古学ファンや尾崎博士の門下生が集い、歴博の深澤敦仁氏のギャラリートーク、右島和夫歴博館長と清水和夫教育学部同窓会長のトークショー也大盛況となりました。

トピックス

群馬大学総合情報メディアセンター医学図書館・理工学図書館

英語論文投稿セミナーを開催しました

9月13日（木）、14日（金）に昭和・桐生両キャンパスにて「英語論文投稿セミナー トップレベルの論文執筆に必要な研究メソッドーインパクトファクターを超えてー」を開催しました。これは、本学の研究、特に若手研究者の支援として、昨年度の「研究者のためのポスターデザインセミナー」に引き続き企画したものです。

クラリベイト・アナリティクス・ジャパンの講師から、モデル論文の探し方、論文執筆と研究の進め方、投稿先ジャーナルの選定方法、査読者とのやり取りなどを論文投稿フローに沿って具体的にご紹介いただきました。Web of Science、EndNote、JCRの効果的な利用方法に加え、査読者コミュニティPublonsや購読誌のPDFをワンクリックで入手できるKopernioといった新たなサービスも知ることができました。2日間の開催で学部生・院生・教職員136名の参加がありました。今後も研究活動に役立つ講習会を企画していきたいと考えています。



セミナーの様子

トピックス

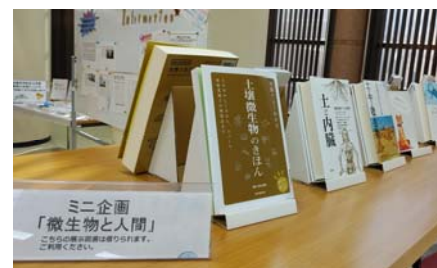
共愛学園前橋国際大学図書館

企画展示・ミニ企画について

本学図書館は毎月、企画展示とミニ企画という展示コーナーを設け、様々なテーマに沿った図書を展示しています。テーマについては、図書館運営グループという組織の会議で検討して決めています。このテーマ決めは様々な案が出る、楽しい時間です。テーマが決まりましたら、担当の教員が蔵書を含めた図書のリストを作成し、展示を作っていきます。新規購入も行い、新鮮な情報が手に入るように心がけております。

2018年度は以下の展示を行いました。タイムリーなテーマのものは、学生もよく手にとって見えています。今後も学生の学びに役立つ展示を行っていこうと考えております。

開始時期	棚	テーマ
4月	企画	学生が選んだ！大学生活に役立つ本
	ミニ	ブランドの秘密
5月	企画	図書館おすすめ！大学生活に役立つ本
	ミニ	文豪キャラクターの世界part2
6月	企画	旅へ！—そして旅からの贈り物
	ミニ	美しい建物・不思議な家
7月	企画	人間とは何か、動物学からのアプローチ
	ミニ	名言集—人生を豊かにする言葉との出会い
8・9月	企画	明治150年—日本の近現代を考える—
	ミニ	等身大の中国
10月	企画	人間の尊厳を求めて—キング牧師没後50年に考える—
	ミニ	本と人間
11月	企画	日本語の謎
	ミニ	子どもの権利を考える
12月	企画	日本社会と天皇—歴史学・社会学・宗教学で読む—
	ミニ	潜伏キリシタンを訪ねて—世界遺産とその周辺—
1月	企画	村上春樹の世界観とつながろう
	ミニ	世界のダンス
2・3月	企画	テクノロジーはどこへ向かうのか？—科学技術と倫理—
	ミニ	微生物と人間



編集後記

人事異動に伴い、1月から編集委員を担当させていただくことになりました。会報を第1号から読み返すと、協議会発足時に寄せられた期待や、先輩方が熱意をもって日々研鑽を積み重ねられていた様子に襟を正される思いです。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。
(群馬大学総合情報メディアセンター 山内可菜)